

【件名】

小学校エアコンの設置について

【内容】

悪化していく異常気象、激暑による熱中症は秋になってもまだ続いています。

来年エアコンが夏休みに設置されると聞き、驚きを隠せません。なぜ夏が来る前の冬休み中ではないのか、対応の遅さにびっくりしています。

ぜひ、市の役員さんにも、エアコン無しで6時間授業を受けていただきたいものです。過酷な環境という事を知っていただき、せめて、来年の夏休みではなく、今度の冬休み中に設置を早めていただきたいと、お願い致します。

【回答】

本市では、普通教室へのエアコンの設置を進めておりますが、設置するに当たって、設計業務及び施工に期間を要することとなりますので、計画的に整備しています。

具体的には、学校に設置するエアコンは業務用の容量の大きいものになりますので、機器や電気配線の設置位置、エアコンを設置することで増える電気容量に対応するために、高圧受変電設備の増設なども含めた設計が必要です。また、設置工事は、工事期間中校舎の外壁に足場や工事用ネットを架けるため教室内が暗くなることや、音の出る作業を行うことから授業に支障がないように、夏休みを含む2か月間で行うことが必要で、平成27年度から計画的に設計、工事を行っています。

このため、御要望のありました冬休み中のエアコンの設置については、その期間に工事ができないのが実状であり、関谷小学校普通教室へのエアコン設置についても今年度設計を行い、平成31年度の夏休みに工事の予定で取り組んでおり、代替措置として、夏休み前の暑さ対策のため、冷風機の導入に向けて現在検討しているところです。

今年度の熱中症対策として、各教室に配備する扇風機の台数を増やしたほか、授業中は保冷剤や濡れタオルを首に当てたり、こまめに水分を補給することを促し、休み時間はエアコンが利用できる特別教室等に自由に入出入りができるようにするなど、児童の健康状態に留意しながら対応をまいりました。

また、来年度に向けて、熱中症指数計の配備を予定しています。

今後も、引き続き児童の健康管理に留意し、児童が快適に過ごせるよう、学校と緊密に連携しながら対応してまいります。

平成30年11月26日対応／回答